

# — 第898回九大原子核セミナー —

講師：松本 琢磨 氏 (九州大学)

演題：離散化チャネル結合法による不安定核分解反応の解析と  
核データ評価への応用

日時：5月25日(金) 16:30～

場所：理学部 物理大学院講義室(理学部2号館2階2263室)

## 概要

離散化チャネル結合 (CDCC) 法は不安定核分解反応の解析に良く用いられ、最も信頼性のある方法の1つである。当初、CDCC法は3体反応系(入射核が2体に分解)の解析方法として提案され、現在では入射核が3体に分解する、標的核まで含めた4体系への拡張にも成功している。本講演では、これまで行ってきたCDCC法による不安定核分解反応の解析の結果について、さらにCDCC法の工学分野への応用の1つである、原子核反応データ評価について報告する。

連絡先: 九州大学 理学部 物理学教室 理論核物理研究室  
TEL: 092-642-2111 (内線 8357)  
蓑茂 工将 (minomo@phys.kyushu-u.ac.jp)

平成 24 年 5 月 11 日